

2011年6月16日

国土交通省への要請

流出解析法のレビューに関するワーキンググループ

総合確率法について、下記の2点について、回答頂きたい。

1. 以下の点に留意して、総合確率法の詳細を記述した技術文書を提出されたい。
 - (1) Q_p と R の関係はどのような関係式で表すのか。
 - (2) 3日雨量確率を非毎年確率とするか年最大確率とするか。前者の場合は、対象降雨抽出のための境界値の設定によって結果（推定される流量確率）がどのように変わるか。
 - (3) 非毎年資料と毎年（年最大）資料との間の年超過確率の関係式を示すこと。
 - (4) 3日雨量確率分布を定めるに当たっての対象期間の選定理由と、異なる対象期間を選定したときに結果（推定される流量確率）がどのように変わるか。
 - (5) 適合する確率密度関数の選定方法とパラメータの推定方法。
 - (6) $F(Q_p)$ の関数形はどう求めているのか。 Q_p を細かくとって各点を繋いでいるのか。
2. 総合確率法と従来法を比較した上で、利根川流域の基本高水を求める手法を明確に記述した技術文書を提出されたい。